

第4回栗国空港PI評価委員会 議事抄録

① 日時 平成23年3月29日(火) 9:30~11:30

② 会場 オーガストインク久茂地 会議室

③ 出席者

栗国空港PI評価委員会委員

沖縄国際大学 経済学部 教授 大城 保 (委員長)

琉球大学 工学部 教授 堤 純一郎

フリージャーナリスト 崎山 律子

栗国空港協議会

栗国村 村長 新城 静喜

沖縄県 土木建築部 参事 池田 尊彦

沖縄県 土木建築部 空港課長 伊佐 実春

④ 議題

(1) 第3回栗国空港PI委員会の議事確認について

(2) 栗国空港のパブリック・インボルブメント実施記録(案)について

(3) その他

⑤ 配布資料

次第

配席図

出席者名簿

資料1: 第3回栗国空港PI評価委員会の議事抄録

資料2: 第3回栗国空港PI評価委員会の指摘事項と対応について

資料3-1: 栗国空港のパブリック・インボルブメント実施記録(案)

資料3-2: 栗国空港のパブリック・インボルブメント実施記録(概要版)(案)

参考資料1: 栗国空港整備計画に関するPI実施計画書

参考資料2: 栗国空港の調査報告書

参考資料3: 栗国空港PIに寄せられたご意見

参考資料4: 栗国空港のパブリック・インボルブメント実施記録 目次

【議事における主な発言内容】

(大城委員長) 東日本における大地震や原子力発電所の災害など、日本が今厳しい状況に置かれています。甲子園での選手宣誓で「がんばろう日本」とあったように、そのためには、今自分達ができることは何なのか、すべきことは何なのかを考えることが、今の日本に必要なことなのかなと考えます。現地が非常に混乱しているなかで、周辺地域まで動揺すると大変な状況になりますので、周辺地域は冷静にやるべきことを考え取り組むことが大事だと思います。

そういう意味においても、今われわれがすべきことは何なのかを念頭に、この約2時間の今回の委員会では、栗国村の発展につながるような栗国空港の社会資本整備に向けて何が必要なのかを議論していきたいと思います。今日は栗国空港の方向性を考えるということで、皆様よろしくお願いします。

今回の議事は大きく分けて3つあります。議事1は「第3回栗国空港P I 評価委員会の議事確認について」、議事2は「栗国空港のパブリック・インボルブメント実施記録(案)について」、議事3の「その他」については、事務局から報告があると思います。

(1) 第3回栗国空港P I 評価委員会の議事確認について (議案1:資料1、2)

(事務局) 資料1、2の説明

(大城委員長) 第3回委員会の指摘事項を受けて、調査報告書を修正したということですが、議事録の内容、指摘事項に対する対応について、確認することはありますか。

(委員一同) 特にありません。

(大城委員長) 第3回委員会の議事録、指摘事項と対応については、承認したいと思います。

(2) 栗国空港のパブリック・インボルブメント実施記録(案) (議案2:資料3)

(事務局) 資料3の説明

(大城委員長) 実施記録(案)では、P23までのP I 活動結果や分析、P24以降の評価について分けて議論していきます。P23までの寄せられた回答の分析等について、意見はありますか。

(堤委員) 全体を通してP I 活動の実施状況を見ますと、調査報告書の配布部数を当初予定していた2,000部から3,500部に大幅に増刷したところが目立ちますが、これは予算措置等があって増刷したのでしょうか。

(事務局) 栗国一那覇の航空路維持・確保策等について広く周知するために、調査報告書は4,000部印刷して、そのうち3,520部を配布しました。

(堤委員) 県外への配布として、わしたショップでも周知したことは非常に面白かった良かったと思いますが、県外からの回答は沖縄県出身者が多かったのでしょうか、それとも県外出身者が多かったのでしょうか。また、県外の方は、どのように知ったのでしょうか。

(事務局) 沖縄県出身者もいれば、県外出身者はホームページを見た方や県庁に訪れた際にパネル展を見た方など、様々な方から回答を得ています。

(崎山委員) 実施記録(案)のP10の自由意見を分類する方法について、「Oさんの意見」を3つに分類しているように、寄せられた意見を6つのグループにそれぞれ分類しているのでしょうか。例えば、早期整備を支持しない意見が分散してしまうのではないのでしょうか。意見を複数に分類することで、意見全体の意味を取り違えることにならないのでしょうか。

(大城委員長) 「Oさんの意見」の「現空港の有効活用の観点から、19席のプロペラ機を就航させることが可能であれば、その方がベストと考える」を「現空港の有効活用策を支持する」に文章を置き換えるのではなく、本人の生の意見をそのまま活かして整理する方が良いのではないのでしょうか。

(事務局) 実施記録(案)P10の例示の「Oさんの意見」では文章を変えるような形で分類していますが、参考資料3「寄せられたご意見」では原文をそのまま載せており、赤字の文章に着目して意見を分類し集計しています。したがって、意図的に意見をセンテンス毎に短縮して分類・整理したわけではなく、実作業では意見全体を読みながら意見を汲み取って分類しています。

先ほど崎山委員がご指摘したように、「早期整備を希望する」という意見はいろいろな意味が含まれているのは事実です。

(大城委員長) P10の「Oさんの意見」は原文を活かすように3つに分類して記載してください。そのときに、参考資料3に記載されているように、「赤字を中心に分類・整理しています」と注記すると、誤解が生じないと思います。

(事務局) 実施記録(案)P10の整理・分類方法の説明では、生の意見を用います。

(崎山委員) 村長に伺いますが、地元から多くの意見が寄せられていますが、男性と比べて女性の意見が少ないのはなぜでしょうか。人口比からすると、女性の方が少ないのでしょうか。

(協議会：新城) 調査報告書は、全世帯に配布しましたが、高齢者が多い関係でなかなか回収ができなかったため、区長や役場の経済課が中心になって各世帯に訪問して回収しました。女性の意見が少なかったことについては、理由はわかりませんが、できる限り男性、

女性半々の意見を収集すればよかったと思いました。

(大城委員長) 粟国村に住んでいる人の中で、男性、女性は何%いたのでしょうか。また、粟国村以外に住んでいる人はどうでしょうか。

(協議会：池田) なぜ男性の方が多いのかについては、調査報告書は各世帯に配布していますが、意見は世帯を代表して家主（男性）が回答しているから、男性の方が多いのではないかと考えられます。

(堤委員) 調査報告書の中に回答用紙を1枚だけ挟んでいたのであれば、1世帯に1枚配布されたら、父親の名前で提出しようと思うかもしれません。

(協議会：新城) 調査報告書は各世帯に1枚配布しましたので、堤委員のご指摘のとおり、男性の名前で回答したことにしたものもあったかと思います。また、各世帯のほかにも、官公庁、空港、役場窓口などにも置きましたので、そこで回答した方もいると思います。

(大城委員長) 粟国村の回答数が、世帯数を上回っているところは評価できると思います。

(崎山委員) 婦人会のような女性部会とか青年会、老人会などの組織の意見も大事だったと思いました。女性もいろいろな意見を持っていると思うので、女性達の声をもう少し盛り込めたらよかったと思いました。

(協議会：池田) 粟国村、粟国村以外の回答者のバランスがどうだったのかについては、データを確認したいと思います。

(大城委員長) 実施記録（案）のP23までのPⅠ活動結果、寄せられた意見については、P10の自由意見の整理の仕方は原文を活用して修正することで、修正は事務局にお任せしたいと思います。

P24以降のPⅠ活動結果の評価について、「視点① PⅠ活動は適切に行われたかどうか」、「視点② 提供する情報は周知されたか」、「視点③ 提供した情報が共有され理解されたか」、「視点④ 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか」の4つの視点から、PⅠ活動はどうだったのかを評価していますが、評価の内容、文言について何かありますか。

(堤委員) 総合評価として、PⅠの実施目標を達成できたとする判断は、かなり正しいと思います。1つ気になったのは、自由意見に「よくわからない」と回答している人が出てくると達成できていないところもあったのかと思いました。A案、B案の比較のところ、船の方が良いという意見があり、空港整備とは異なる意見が散見されたわけですが、このPⅠはこれから航空行政を行っていく中で、どういう意味を持っているのかを十分理解していただけなかったのかと思いました。それを踏まえると、必ずしも全員がPⅠの趣旨を理解していただけなかったことは残念でした。全体としては少数意見ですが、そういう問

題があったことを認識していただきたいと思います。例えば、参考資料3のP16に「意見募集でわかりづらい部分があった・・・」という意見がありますが、意見募集でどういう部分がわかりづらかったのかをフォローアップできれば良いと思います。

(崎山委員) 自由意見が細かく明記されているところはとてもよかったと思います。現空港活用案を支持する意見の中に、空港整備案を反対する意見があり、この意見は自然環境への影響を懸念する意見ととても重なると思いますが、村長はどのようにお考えでしょうか。空港を拡張してほしいという意見がある一方で、採算性が取れるのかという懸念を踏まえると、空港整備に慎重な意見が無視できないくらい多いと思います。

(協議会：新城) 現空港が供用した昭和53年頃にも環境の問題があり、空港整備に反対している人もいました。今回の空港拡張に関しても、環境を守るためには19人乗りの飛行機で現空港活用した方が良いと思っているのかもしれませんが、空港拡張の話は数年前からあり、県と相談してA案で地権者の同意交渉も92%済んでいます。残りの8%の人は環境問題を懸念している人もいます。陸側と海側に延長するA案は環境への影響もありますが、地域住民の同意を得ながら行っていく必要があると思います。空港整備は観光客誘致につながると思いますので、農業、畜産、海域の保全について、住民と意見を交わしながら進めていきたいと思っています。

(大城委員長) 実施記録(案)のP19に寄せられた意見の分類がありますが、改めてどういう意見を持っていたのかを知らせることも大事だと思います。委員が実施記録(案)を見てどう評価するかだけではなく、実施記録を見た人がどう評価するのも重要ですので、A案、B案の議論をする時に、寄せられた意見を見ながら、自分の意見も考える人もいます。参考資料3は実施記録にいれるのか、参考資料という扱いにするのか、どのように公表する予定でしょうか。

(事務局) 実施記録の中に自由意見を入れる予定はございません。ホームページ等で見られるような方法を考えています。

(大城委員長) 実施記録のP19には「自由意見の詳細については、ホームページを見て下さい」という形で明記して、参考資料3にもP19の整理した表を入れることによって、実施記録を見た人は自由意見も見て評価します。その評価は、事業に向けた検討の継続の有無を判断する際にも役に立つと思います。可能な限り自由意見を読んでもらうようにする方法を検討してください。

PI評価委員会は、PIの実施目標を達成したと判断します。実施記録については、意見の分類方法、寄せられた自由意見の取扱いを事務局で検討してもらいたいと思います。

(堤委員) 自由意見を見て、今後の事業展開を検討することができると思います。直接会話して言葉として伝えられる意見と、文字として伝えられる意見は多少のギャップがあると思うので、公開されることは大事ですが、自由意見は参考扱いになるかだと思います。

栗国村の人口は男性が430人、女性は387人で男性の方が多くなっています。

(大城委員長) 実施記録の自由意見は、参考資料として原文のまま公表していただくということで、実施記録(案)は承認したいと思います。

(事務局) 実施記録の概要版(案)の説明

(堤委員) 概要版の内容としては問題ありませんが、最終結論があると良いと思います。

(協議会：池田) 概要版の修正、取扱いについては、事務局で検討したいと思います。

(大城委員長) 委員会の結論は、実施記録(案)のP29になります。概要版を修正するにあたっては、PI活動の実施目標が達成されたかどうかの総合評価の判断材料、総合評価に至るまでの経緯が、本編の実施記録のどこに記載されているのかを明記して整理してください。

概要版は、委員から指摘された内容を反映し、修正内容は委員を代表して私が確認します。

(3) その他

(事務局) 参考資料4の説明

(大城委員長) PI委員会の終了宣言を受けて、委員会を解散したいと思います。委員の方々から一言お願いします。

(崎山委員) 今回のPIを受けて、栗国村の皆さんが自分たちの島のあり方を考えるきっかけになっていただければと思っています。

(堤委員) 今回のPIは、空港整備ありきなのか、現空港活用するのか、それとも交通の確保が重要なのか、視点を間違えないように、そのうえで理解して進めていただきたい。必ずしも空港整備ありきで進んでしまわないことは重要ではないかと考えます。既存空港をどう活かすかも視点に入れて、よりよい方向を目指していただきたい。

(大城委員長) 事業に向けた検討を継続するかどうかについては、栗国村民、県民だけでなく、全国民に対して、なぜ栗国空港の整備事業が必要なのかを説明できる根拠を示していくことが重要と考えます。そういう意味では、今回PIを丁寧に実施していただいたと感じています。その後のどのように活かし展開していくかが重要と考えます。是非、総合的に考えて進めていただきたいと思います。

それでは、栗国空港PI評価委員会は終了したいと思います。

以上